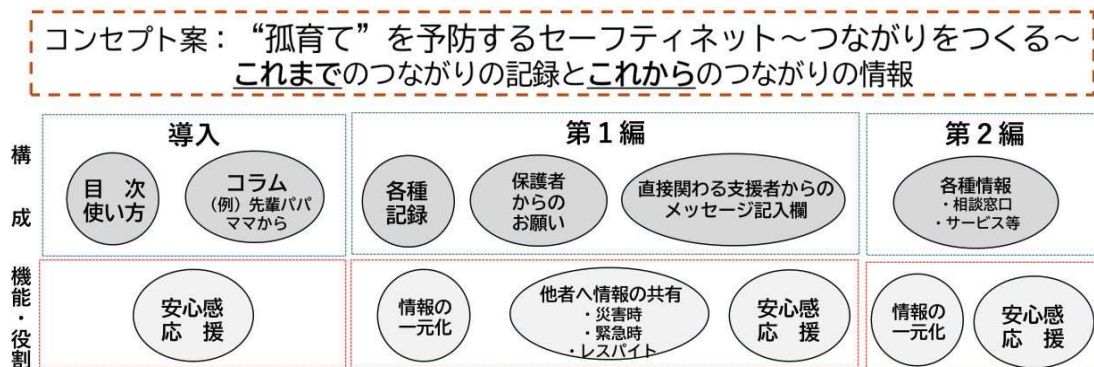


## 静岡市医ケア児等ハンドブックの検討経過

### 1. 初期構想（令和6年度第3回協議会資料（R6.11.7）抜粋）



➤初期構想：医ケア児ハンドブックとして、まとめて情報発信をする

### 2. 関係機関意見（県立こども病院地域連携室等）

#### (1)全体に対する意見

全年代、どのような場面でも使える網羅的なツールは、活用が難しい。

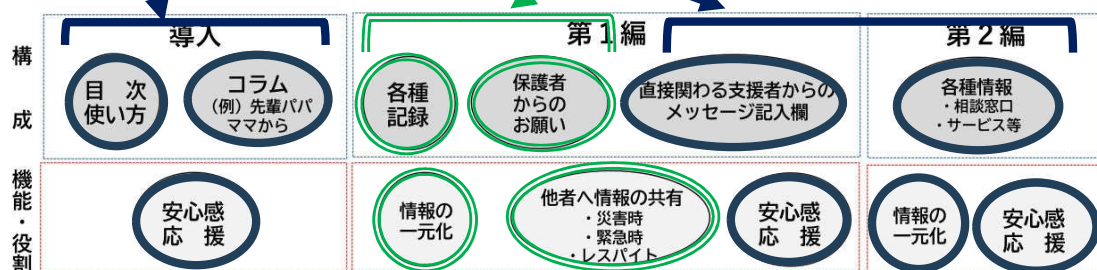
初期構想で想定されていた使用のタイミングは次の2つの場面であり、

- ①主たる養育者が欠けた時：本人を支援している関係機関が分かれば最新の情報が分かるのではないかな。
- ②NICUからの退院時：医療情報の書き込みよりも、支援体制やサービス状況等のインプットが安心感に繋がるのではないかな。

#### (2)構成別の意見

- ・だれでも簡単に情報を見ることが出来る状態が良い。
- ・医ケア児に限定せず、子育て情報の中に掲載されている状態が望ましい。

- ・医療情報は頻繁に変わるが、記載を都度変更するのは養育者に負担。
- ・いつ書かれた情報が分からないものは意味を成さない。



### 3. 今後の対応方針

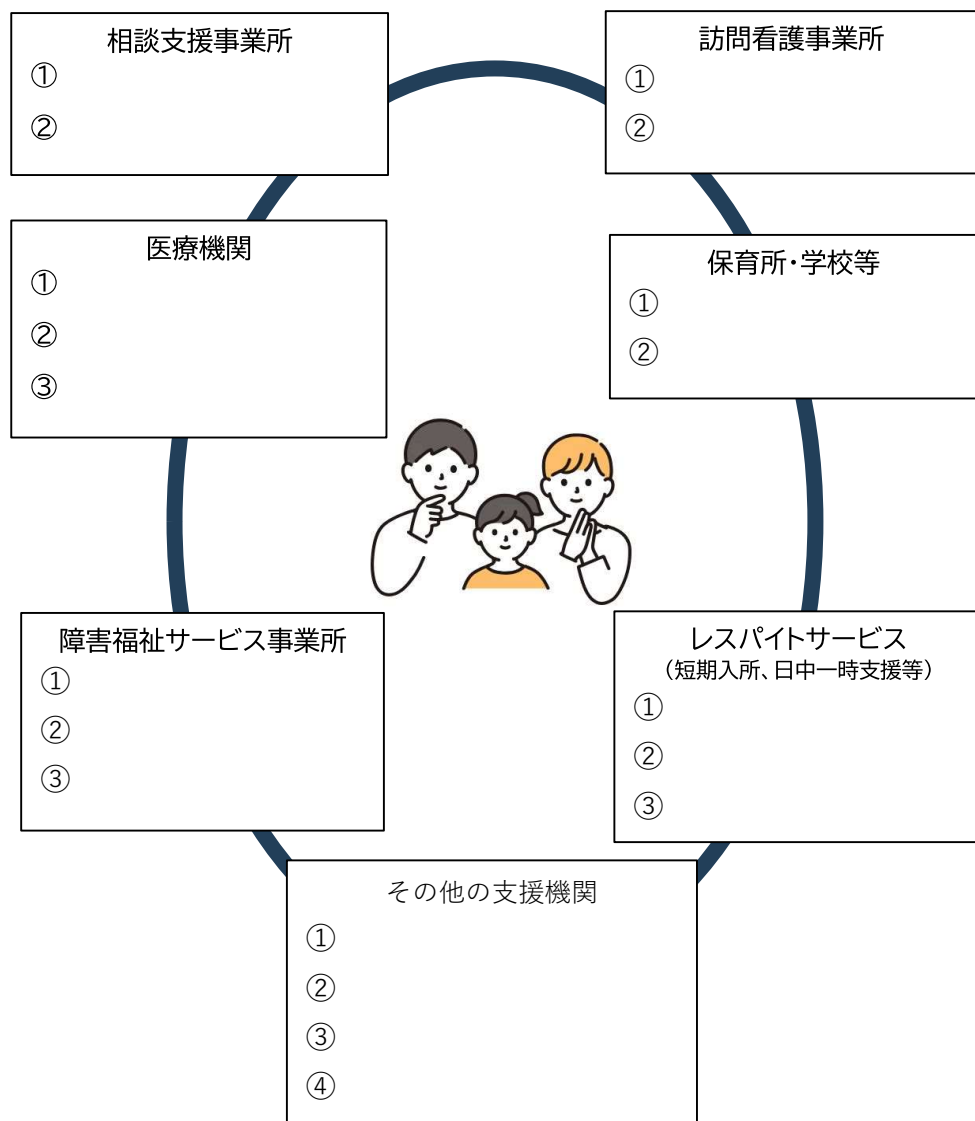
#### インプット HP等での情報発信

- ・医ケア児が利用できる制度やポイントをまとめる
- ・コラムやメッセージなど、当事者を支える情報を掲載

#### アウトプット 医ケア児等ハンドブック(案)

- ・岐阜県「地域でくらすかけはしノート」を参考に(参考箇所:福祉サービス利用の記録～支援機関ネットワーク図)参考に作成  
…別紙1のとおり
- 【継続検討】・短期入所等のサービス利用時に必要な情報  
・災害時に必要な情報

#### 4. 支援機関ネットワーク図( 年 月現在、 歳)



## 医ケア児等ハンドブック(検討のための素案)

### 1. 本人の情報

(ふりがな) 氏名	
生年月日	
住所	
電話	
血液型	
障がい支援 区分	なし 区分 1・2・3・4・5・6
身体障害者 手帳	あり( 級) なし
精神障害者 手帳	あり( 級) なし
療育手帳	あり( 判定) なし
保険証・番号	国保・共済・協会けんぽ・組合けんぽ その他( ) 本人・家族 記号 番号

## 2. 福祉サービス(事業所、相談・支援機関)の利用の記録

事業所名	
連絡先	
担当者氏名・職種	
支援内容	
支援期間	歳 か月～ 歳 か月( 年 月 日)
事業所名	
連絡先	
担当者氏名・職種	
支援内容	
支援期間	歳 か月～ 歳 か月( 年 月 日)
事業所名	
連絡先	
担当者氏名・職種	
支援内容	
支援期間	歳 か月～ 歳 か月( 年 月 日)
事業所名	
連絡先	
担当者氏名・職種	
支援内容	
支援期間	歳 か月～ 歳 か月( 年 月 日)

事業所名	
連絡先	
担当者氏名・職種	
支援内容	
支援期間	歳 か月～ 歳 か月( 年 月 日)
事業所名	
連絡先	
担当者氏名・職種	
支援内容	
支援期間	歳 か月～ 歳 か月( 年 月 日)
事業所名	
連絡先	
担当者氏名・職種	
支援内容	
支援期間	歳 か月～ 歳 か月( 年 月 日)

## 4. 医ケア児等コーディネーター

私たちは常時医療を必要としたり、重症心身障害をもつお子さんやそのご家族が、  
住み慣れた地域で安心して暮らせるように、医療・保育・教育・福祉等の必要な機関をつないで  
一緒に考えます。何かお困りのことや悩みがあれば、ご相談ください。

相談受付 月～金 8:30～17:15

お問い合わせ

福祉について アグネス静岡 249-2833  
医療について あおぞら診療所しずおか 204-1119

## 医療的ケア児等の緊急時の受け入れに関する利用状況調査について

### 1. 調査目的

緊急時の受け入れに関する利用状況調査結果をもとに、本市における緊急時の受け入れのための地域資源である短期入所サービスやその他サービスの活用状況について、現状や課題を整理し、今後の施策検討のための参考としたい。

### 2. 調査概要

参考資料3のとおり。

ご意見をいただきたいです

本結果に対するご意見や補足等があれば、協議会内で情報提供をいただき、今後の分析作業における観点や留意点とさせていただきます。

また、今後の検討の進め方や分析方法についても、ご意見等を頂戴したいです。

※当調査における「緊急時」の定義：

主たる介護者の急な体調不良・入院・手術・緊急搬送・虐待等により、短期入所等の利用が必要となる時

### 分析について(案)

これまで設問単位で集計し、百分率で示してきました(単純集計)が、今後の作業においては、問13「緊急時の対応状況」を中心に、傾向等を見出したいと考えています。

①複数回答の状況を確認

②クロス集計

ex) 医ケアの程度、複数回答の者

③医ケアCo.と協働による地域診断

④追加インタビュー

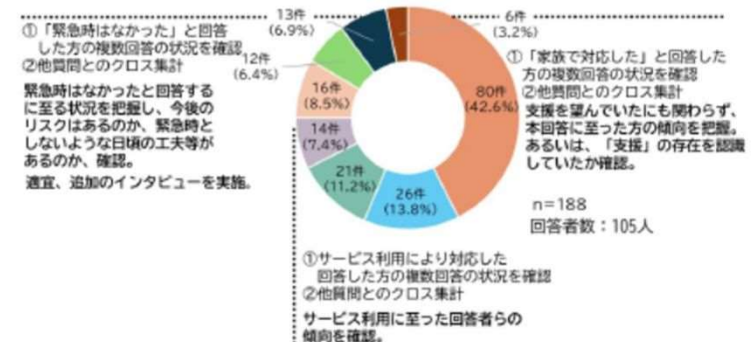
実情(個別の支援ケースや市内支援機関の状況)と調査結果の比較

など

当事者またはその家族向け

問13 過去の緊急時における対応状況(複数回答)

※分析のイメージ



## 2. 問13「緊急時の対応状況」の傾向

1. Q3回答数×Q13単数回答・複数回答

(Q3 医療的ケアの内容を教えてください。)

(あてはまるものを全て選んでください)。

Q13 これまで、緊急時はどのように対応しましたか。)

医療的ケアの回答項目	対応方法 単一選択者 (医ケアのみ 27名)	対応方法 複数回答者 (医ケアのみ 28名)
1種類	6 22%	4 15%
2種類	5 19%	5 18%
3種類	6 22%	3 11%
4種類	6 22%	4 15%
5種類	2 7%	2 7%
6種類以上	2 7%	10 36%

2. Q13単一回答・複数回答 × Q13回答項目

(Q13 これまで、緊急時はどのように対応しましたか。)

対応方法	単一選択者 (54名)	複数回答者 (51名)
家族で対応した	35 65%	45 34%
短期入所	5 9%	21 16%
日中サービス	-	21 16%
訪問介護	-	16 12%
居宅系サービス	-	14 10%
入院	1 2%	11 8%
その他	-	6 4%
これまで緊急時はなかった	13 24%	-
計	54	134

3. 現場の声(医ケアCoより)

①緊急時のタイミングや状況により、短期入所だけでなく、他のサービスも使いながら対応している。しかし、予定しているサービス報酬の中の対応以外であり、無償での対応もあり得るため、事業所の熱意任せになってる。

②短期入所を利用していれば緊急時の対応が可能となることが多いが、利用していない場合には難しい。

③緊急時だけのサービス利用は難しいため、日ごろからの“顔つなぎ”が、緊急時にもいきてくる。

38%